



変動期に入るタイの社会・経済・政治

—その歴史的背景と経緯から2022年を見通す

バンディット・ローツアラヤノン

解説事項

- ▶ タイの社会構造
- ▶ タイ社会の特徴
- ▶ 最近の経済状況
- ▶ 政治の流れ
- ▶ 政治家の影響力
- ▶ タイ愛国党の旋風
- ▶ 政変後の政治変化を代表する首相
- ▶ 国民国家の力党の課題
- ▶ タイ貢献党の課題

タイの社会構造

- ▶ 多民族－多文化：ミャンマー（西部）、ラオス（東北部）、カンボジア（東部）、ベトナム（東北部）、マラヤ（南部）、インド（中央部）、華僑（全国）
- ▶ 宗 教：仏教、イスラム教、キリスト教
- ▶ 経済力：華僑
- ▶ 政 治：王政の歴史が長い（1932年から立憲君主制）

アユタヤ



ラッタナコシン初期



ラマ5世以降



タイの国旗ー 1917年から



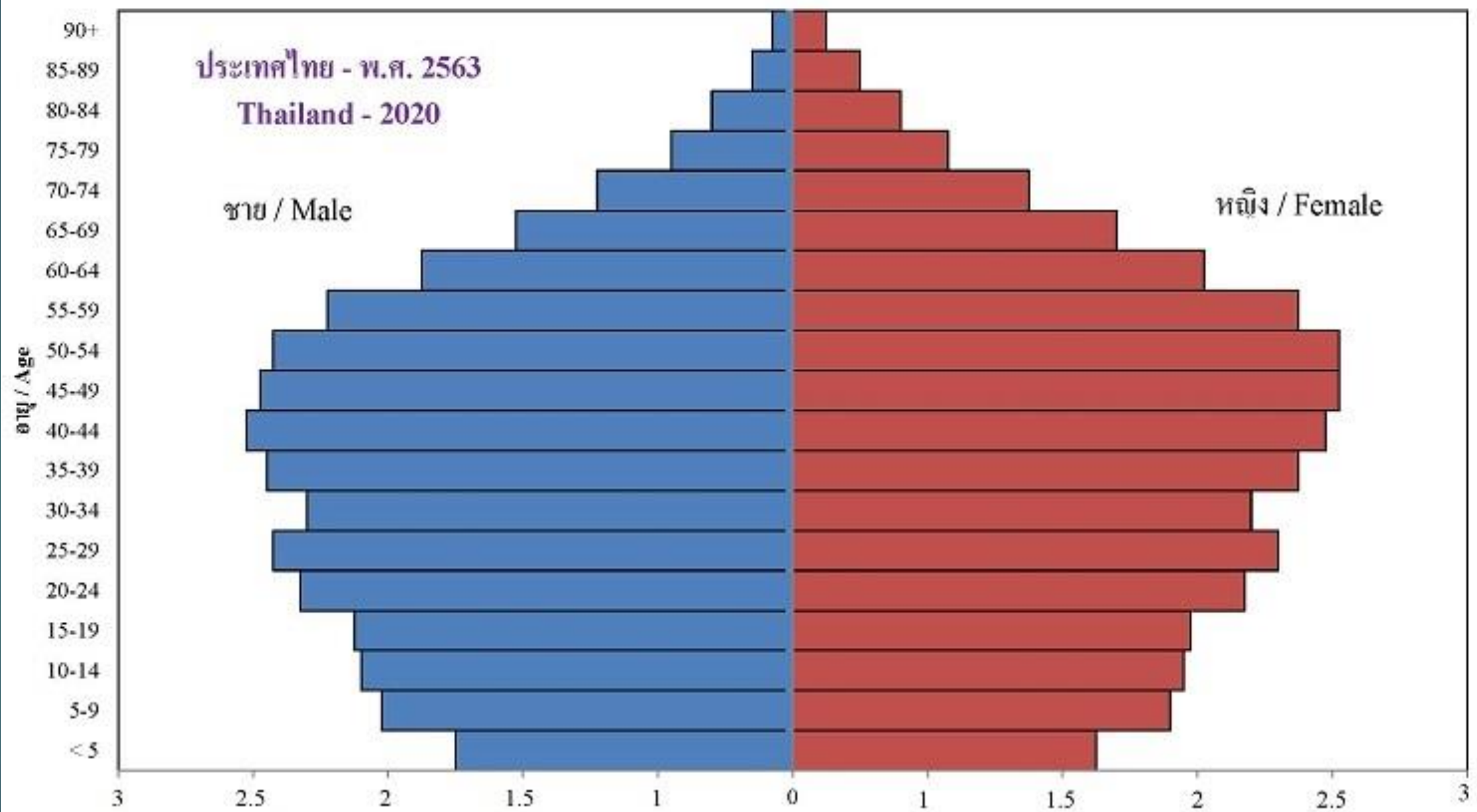
赤→国家

白→宗教

青→国王

国名は1939年に
「サイアム」から「タイ」
に変わった

ประเทศไทย - พ.ศ. 2563
Thailand - 2020



ชาย / Male

หญิง / Female

อายุ / Age

タイ社会の特徴

- ▶ 多民族・多文化環境で生活することに慣れている
- ▶ 一部の高い階級層以外、ルーツをあまり気にしない
- ▶ 権力・権威・特権の社会
- ▶ 支配者の責任感が低い
- ▶ 利益相反に厳しくない
- ▶ 一般的に人が優しい

最近の経済状況（1）

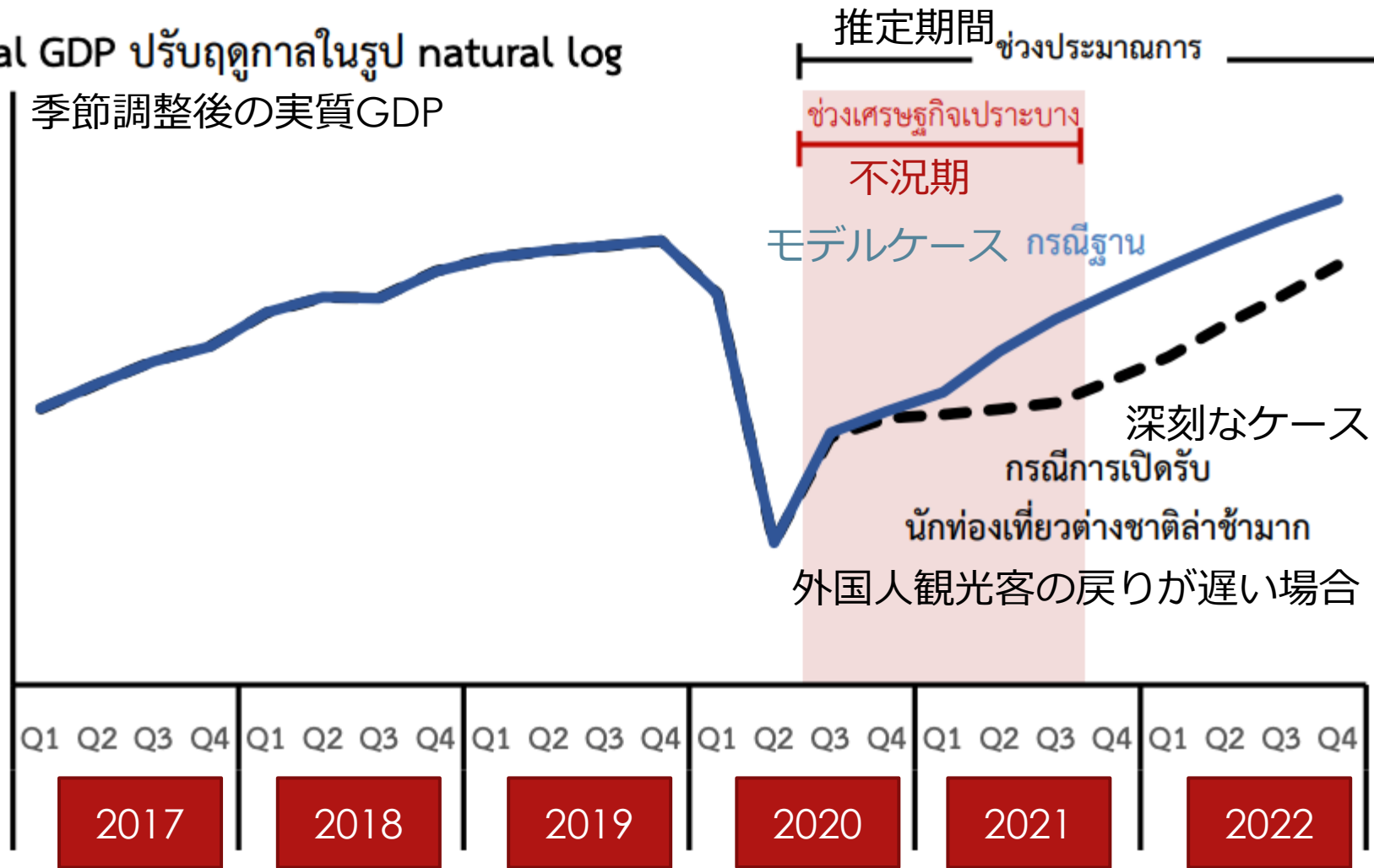
- ▶ 1997年の通貨危機を境目に最近の成長は鈍っている
- ▶ 2020年のGDPは-6.1%、2021年は+1.2%、2022年+3.5~+4.5%と予想されている
- ▶ 国の債務：2021年11月時点でGDPの60%に達する
- ▶ 家計債務：2021年初めてGDPの90%を超えた
- ▶ 不動産の売買状況：供給過剰で全国で20数万戸が売れ残っている

経済見通し

แนวโน้มเศรษฐกิจไทยในกรณีต่างๆ

Real GDP ปรับฤดูกาลในรูป natural log

季節調整後の実質GDP



推定期間 ช่วงประมาณการ

ช่วงเศรษฐกิจเปราะบาง

不況期

モデルケース กรณีฐาน

深刻なケース

กรณีการเปิดรับ

นักท่องเที่ยวต่างชาติล่าช้ามาก

外国人観光客の戻りが遅い場合

最近の経済状況（2）

- ▶ 東部経済回廊（EEC）は累計投資額が5ヵ年計画（2017年～2022年）目標額の94%（1.6兆バーツ）に達した（国と民間合わせて）
- ▶ 人材育成（Re-skill and upskill）
- ▶ ビジネスに関する法律と行政の改善
- ▶ 過剰生産力の解消（例えば、観光業の合併と買収を含む）
- ▶ コロナウイルス後の有望な業種を強化する政策を推進する（ヘルスケア、食品、自動車、観光など）

最近の経済状況（3）

- ▶ 2020年4月から現在までタイ政府は2兆バーツの経済刺激予算を付けた
- ▶ 2021年11月1日から50か国からの観光客を隔離なしで歓迎する
- ▶ 学校の再開も承認した
- ▶ 飲食店などの再開を認め、営業時間制限を緩和した

政治の流れ：政治の主役

- ▶ 王室、官僚、都会の中間層、地方の住民
- ▶ 王室：過去は王族間の争いで王様が弱くなると軍の司令官に倒され、新王朝に変わった
- ▶ 官僚：中央統制で支配すること続けるため、必要とする法律をラマ5世から制定してきた
- ▶ 都会の中間層：戦後徐々に増えていて、影響力を伸ばしている
- ▶ 地方の住民：人口の7割を占めているが政治力が弱い

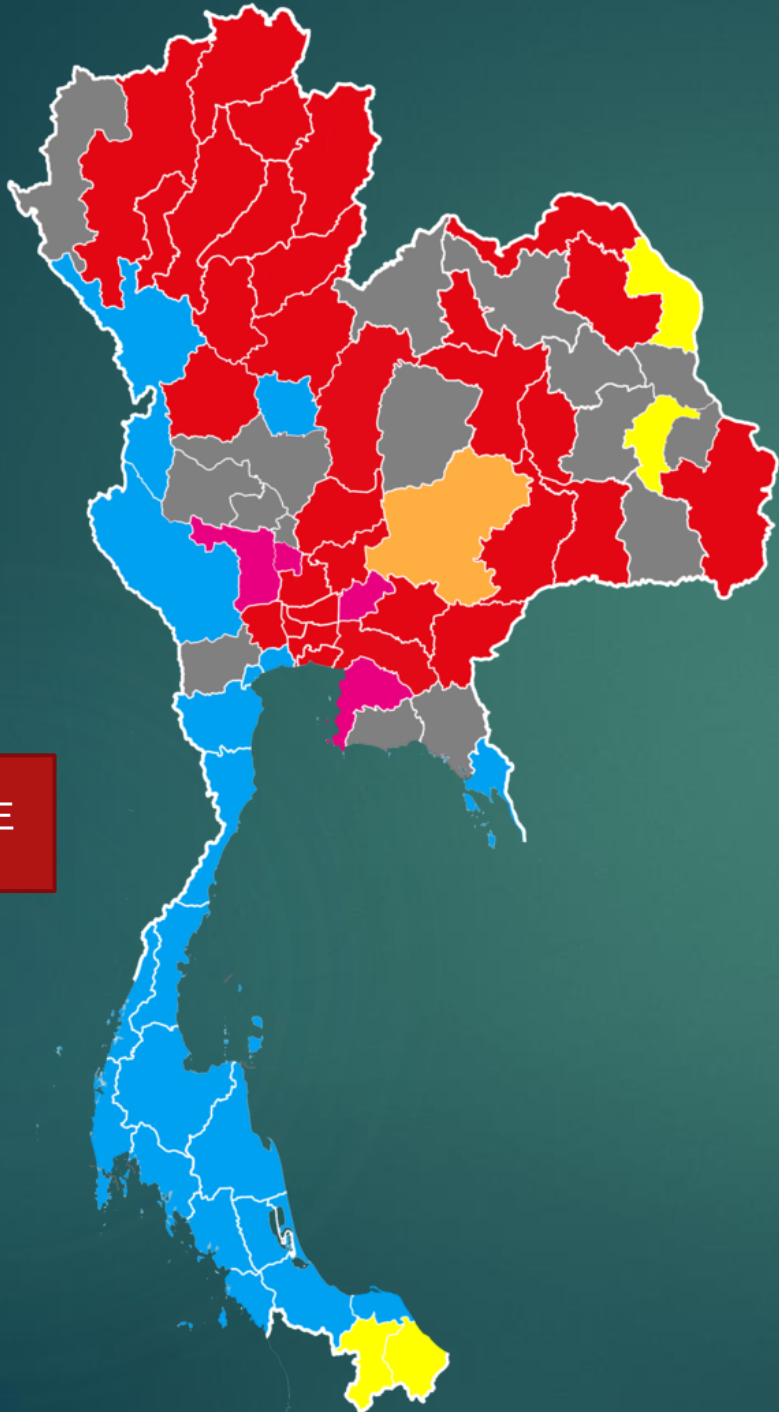
政治家の影響力

- ▶ 戦後、政治家の出身は町村部のリーダーが多かったが、だんだん実業家とか地方の権力者の色が強くなってきた
- ▶ 自分のビジネスを守り、拡張するために政治家になる
(公共資源を利用する国の許可が必要とするもの、建設業、運輸業など)
- ▶ 国の予算と省に所属する公社の予算に目をつける
- ▶ 運輸省、農業協同組合省、エネルギー省、内務省、財務省、商務省

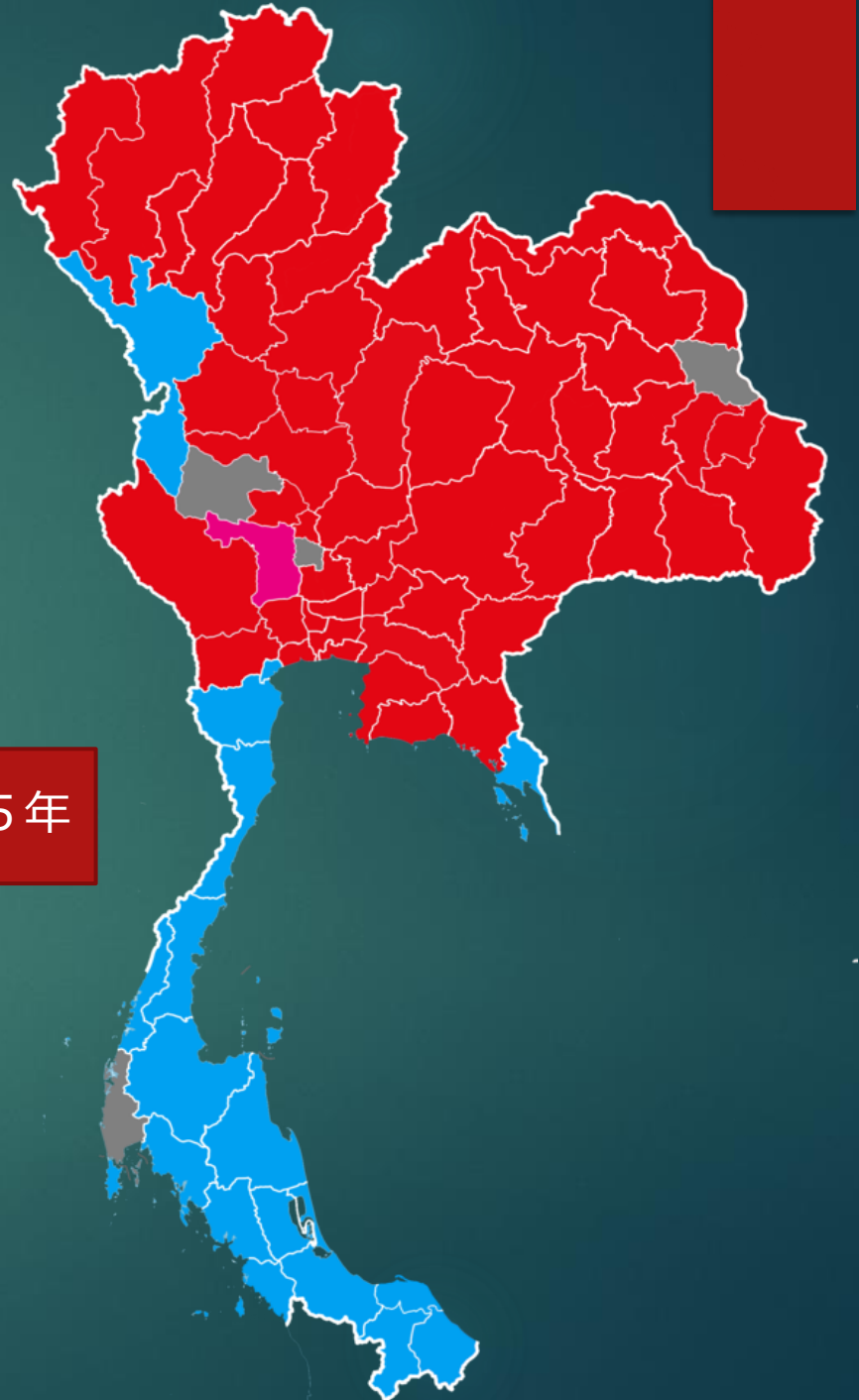
タイ愛国党の旋風

- ▶ 地方の庶民の利益になる公約を打ち出し、2001年初の総選挙で大勝をした
- ▶ 村落基金、30バーツ治療制度の公約を実施して高評価を受けた
- ▶ 立候補者の争いから党の政策の争いに移行した
- ▶ 2005年の総選挙、単独で過半数を取った

2001年



2005年



2019年の総選挙の票獲得

政党	獲得票（万票）	議席
国民国家の力党	8 4 3	1 1 8
タイ貢献党	7 9 2	1 3 7
新未来党	6 2 6	8 7
民主党	3 9 5	5 5
タイ誇り党	3 7 2	5 2

政変後を代表する首相

- ▶ 戦前－戦後：ピブーンソンクラーム大将→政変を起こした国民党の一員；愛国心と近代化を提唱
- ▶ 1957年－1961年：サリット・タナラット大将→クーデター成功後、国王の承認を求めて正当性を高めた
- ▶ 1961年－1971年：タノム・キッティカジョーヌ大将→独裁政権、学生運動の旋風を招いた
- ▶ 1980年－1988年：プレーム・ティナスーラノン大将→国王尊敬が高い；半民主主義時代
- ▶ 2001年－2006年：タクシン・シナワット氏→ポピュリズム政策を大胆に提案して実現した

国民国家の力党の課題

- ▶ 党内の意見違いをどう解消するか
- ▶ プラユット首相の任期期限 8 年はどう解釈されるか
- ▶ タイ貢献党のダントツのトップをどう防ぐか
- ▶ タイ誇り党とタイ国開発党はどちらとも組めるため、タイ貢献党の大勝だったら、こちらと協力する可能性が高い

タイ貢献党の課題

- ▶ タクシン氏の人気をどううまく利用するか
- ▶ 新有権者をどう獲得するか
- ▶ 選挙法改正で有利だが、小選挙区をどう守るか
- ▶ タクシン氏の影から抜けられないままで本当に民主主義のために戦っているのかと問われている
- ▶ ポピュリズム公約は財源、メリット、リスク要素を明示することが義務づけられている

Q&A